

都議4期16年、たしかな実績――あなたの力で再び都政に



特別養護老人(特養)ホームに入れない人は中野区で1200人も。 党区議団のアンケート(1186人)でも区民要望の二番目です。

住民の願いにもとづき、「南部地域に特養を」という署名運動を展開。特養ホームを都に要望してき

特養ホーム 都と区に迫り増設 低床バスなどバリアフリー前進

た植木さんは党区議団とともに奮闘。そ の結果、富士見中跡地に実現することに なりました。

また、リュウマチの女性からの訴えをもとに植木こうじさんは「段差のないバスを」と署名を開始。多くの障がい者団体の運動とあわせて 1990 年に実現しました。植木さんは都議会で「民間にも普及を」と迫り、いまや全国に広がりました。



いまや民間でも当たり前になっ たノンステップ(低床)バス



視覚障かい者と街を調査

特養ホームを区内に 500 床増設を 高すぎる国民健康保険料の軽減を

福祉の願い たくせます



2013年6月号外 中野の広場社 (中野区野方 1-17-4) 日本共産党と植木こうじ前都議の実績・政策を紹介します。

大直木こうじ 日本共産党 前都議会議員 たしかな実績――だから願いをたくせます

ふ 説 し 保 で ! 園 が突然

「待機児解消は認可保育所の増設で」 と用地費補助など求める

認証保育所「ハッピースマイル東中野駅前園」 が突然閉園し、子どもや職員が放り出されました。植木こうじさんは、ただちに相談・対応に 奔走するとともに、この経営企業の虚偽申請の 事実をつきとめました。

植木さんの申し入れや質問・談話で認証保育の財務審査を厳しくさせるとともに「待機児解消は認可保育所の増設を基本」にすえるよう求め、のちに認可園の増設につながりました。

「認可園ふやせ」の 請願つぶした自・公・民

自民・公明・民主は、認証保育 所一本やりで認可園増設にブレー キをかけてきた石原知事(現・維 新代表)に追随。都民の請願に反 対しつづけてきました。みんなの 党は「企業にまかせよ」と、公的 保育の縮小を主張しています。



子育ての声 たくせます

当面 500 人分の認可園の区内増設を

こ地震いり災害

植木さんの都議会初質問は神田川の水害対策。水害時に、区議といっしょになって救援活動の先頭に立つとともに、国会議員や区議と神田川を歩いて調査してきました。

植木さんは、環7地下の調節池の

下水道幹線や調整池をつくらせ 災害対策をすすめてきました

推進、雨水抑制装置、本郷通りに下水道幹線の整備をせまりました。また、植木さんの質問で、下水道和田・弥生幹線をつくる計画を答弁し、2007年に完成。水害をくいとめてきました。



救援活動(2004年) 排水ポンプを手配して水害の

防災の願い たくせます

木造住宅の耐震・不燃化助成を

消費税アップ中止、原発ゼロは「植木ごうじ」

安倍内閣がねらう消費税増税、原発再稼働。「こんな時期に消費税アップはできない」「原発はなくすべき」――日本共産党は立場や信条の違いをこえて、こうした人たちと共同を広げます。その願いを植木こうじにたくしてください。

植木こうじプロフィール

1944 年、群馬県高崎市生まれ●高崎高校卒、千葉大学工学部卒●日本電波工業株式会社・電子機器部につとめたのち、党職員に●都議4期(1989~2009年)、衛生労働経済委員長、文教委員長、議会運営委員、党都議団副幹事長など歴任●「革新都政をつくる中野の会」代表世話人、党中野地区委員会副委員長●趣味は写真。